

令和6年度 富山県農村RMO伴走支援事業

「第2回農村RMO伴走者育成講座」

令和6年度の本講座は2回開催し、農村RMOの形成を目指すそれぞれの地域での現状分析や話し合いを効果的に進めるための手法等のスキルを身につけ、「**農村RMO伴走者**」となる人材育成を目的としています。

第1回

黒部市東山地区を研修モデルとして
「**地元学**」を取り入れた現地研修

8/6開講済

今回

第2回

立山町釜ヶ淵地区をモデルとして現地研修
「**農村RMO取組プロセス解剖**」



令和6年10月15日(火) 9:30～15:30

会場 **釜ヶ淵公民館** (中新川郡立山町道源寺900)

講師

一般社団法人
持続可能な地域社会総合研究所
所長 **藤山浩氏**

1959年鳥根県益田市生まれ。82年一橋大学経済学部卒業後、広島大学大学院国際協力研究科などを経て、98年鳥根県中山間地域研究センター研究統括監就任。17年3月に同センターを退職、一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所を設立、所長就任。著書に「田園回帰1%戦略」、「循環型経済をつくる」、「人口ビジョンをつくる」、「小さな拠点をつくる」(農文協)など。

対象者

富山県内の市町村及び県職員等中山間地域振興に関わる行政職員、NPO法人等

プログラム

- ◆ 釜ヶ淵地区を巡る
- ◆ ワークショップ
 - ①テーマに分かれてヒアリング
 - ②テーマ毎にとりまとめ
- ◆ 成果発表

申込期限・申込方法

令和6年9月30日(月)までに下記担当まで
お申し込みください

問い合わせ

富山県農林水産部農村振興課
担当 飯村、舛崎
TEL 076-444-9011
E-mail:tomoko.masuzaki@pref.toyama.lg.jp

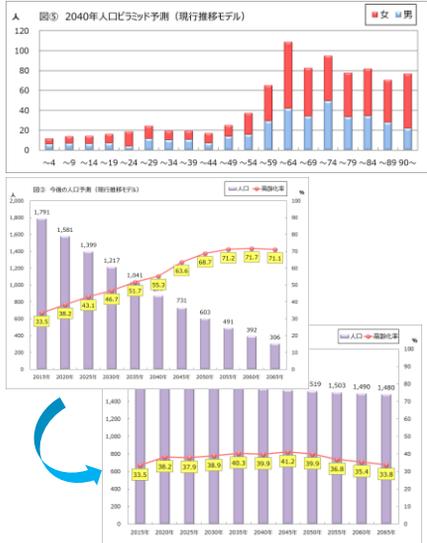
令和6年度 富山県農村RMO伴走支援事業
「第2回農村RMO伴走者育成講座」

令和5年度からこれまで、農村RMO形成を効果的に進める様々な手法を学ぶ
「農村RMO伴走者育成講座」を開講してきました。

「人口・農業就業者分析」

(R5.8.18開催)

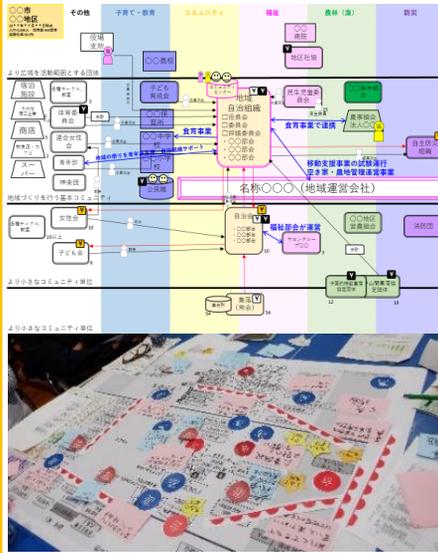
人口・農業就業者推計シミュレーションプログラムを用いて、今後の世代・性別を何人増加させるべきか、定量的な目標や地域が目指す姿について検討・分析



「地元関係図・地元天気図ワークショップ」

(R6.1.25開催)

地域内の経済や活動の繋がり、弱み・強みを可視化し、農村RMO形成に向けた地域内組織を検討・関係性を表現



「地元学」

(R6.8.6開催)

黒部市東山地区を研修モデルとして、地域に住む住民が先生役となり、地元の暮らしや生業、歴史文化などの魅力について「あるもの探し」



これらの手法を活用し、「農村RMO伴走者」の視点で農村RMOの形成に至るプロセスを体験します

「人口・農業就業者分析」
を活用して

「地元関係図・地元天気図」
を活用して

「地元学」
を活用して

テーマ①

人口分析と土地利用図から、釜ヶ淵地区の土地利用に関する現状と課題、可能性を探る

テーマ②

釜ヶ淵地区の農村RMOに関わる組織の軌跡を探る

テーマ③

釜ヶ淵地区の発展を支えた「キーパーソン」の歩みと役割を探る

今回の講座では、釜ヶ淵地区を舞台に

「農村RMO取組プロセス解剖」

を実施します

※前回までの講座を受講していなくても、受講可能です